

令和7年度 第1回 福津市環境基本計画策定委員会

日時：令和7年6月3日（火）10：00～

場所：福津市役所本館2階 大会議室

次 第

1. 市長あいさつ
2. 委嘱状交付
3. 福津市環境基本計画策定委員会規則について
4. 委員・事務局自己紹介
5. 委員長・副委員長の互選
6. 委員長あいさつ
7. 諮問
 - ・第3次福津市環境基本計画
 - ・福津市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）
8. 議題
 - ①第3次福津市環境基本計画の策定について
 - ②福津市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定について
9. その他

福津市環境基本計画策定委員（令和7年6月～基本計画策定まで）

組 織 10人

【学識経験者】

- | | |
|-------------------|-----------|
| ・福岡大学工学部 | 鈴木 慎也 教授 |
| ・福岡女子大学国際文理学部 | 豊貞 佳奈子 教授 |
| ・九州大学大学院農学研究院 | 栗田 喜久 准教授 |
| ・九州大学洋上風力研究教育センター | 早渕 百合子 教授 |

【事業所代表】

- | | |
|-----------|---------|
| ・イオンモール福津 | 村上 浩一 氏 |
|-----------|---------|

【団体代表】

- | | |
|------------|----------|
| ・福津市農業委員会 | 藤井 美智子 氏 |
| ・NPO法人エコけん | 濱 由希子 氏 |

【住民代表】

- | | |
|-------------|----------|
| ・福津市環境審議会委員 | 有田 八郎 氏 |
| ・福津市環境審議会委員 | 長濱 幸一 氏 |
| ・福津市環境審議会委員 | 大庭 也寸志 氏 |

【事務局】

- | | |
|---------|-------|
| 市民共働部長 | 香田 知樹 |
| うみがめ課長 | 占部 賢 |
| うみがめ課主幹 | 青谷 哲也 |
| 環境づくり係長 | 坂本 剛章 |
| 環境づくり係 | 中村 千聖 |

○福津市環境基本計画策定委員会規則

平成17年9月16日

規則第162号

(趣旨)

第1条 この規則は、福津市附属機関設置条例(平成17年福津市条例第16号)第3条の規定に基づき、福津市環境基本計画策定委員会(以下「委員会」という。)の組織及び運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

(所掌事務)

第2条 委員会は、市長の諮問に応じ、次に掲げる事項について必要な調査及び協議を行い、その結果を市長に答申するものとする。

- (1) 環境行政のあり方に関する事項
- (2) 環境保全及び自然再生に係る計画策定に関する事項
- (3) 環境基本計画素案に関する事項
- (4) その他環境基本計画に関する事項

(組織)

第3条 委員会は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する10人以内の委員で組織する。ただし、男女のいずれか一方の委員の数は、委員の総数の10分の3未満であってはならない。

- (1) 識見を有する者 4人以内
 - (2) 住民代表 3人以内
 - (3) 事業者代表 1人以内
 - (4) 団体代表 2人以内
- 2 委員会の委員の任期は基本計画策定までとする。ただし、委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 3 市長は、委員が職務の遂行に支障があると認めるとき、又は委員たるにふさわしくないと認めるときは、任期内でもこれを解嘱することができる。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に委員長及び副委員長を置き、その選出は、委員の互選による。

- 2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議及び意見の聴取)

第5条 委員会の会議は、委員長が招集し、その議長となる。

- 2 委員会は、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。
- 3 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 4 委員会において必要があるときは、関係者の出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。

(庶務)

第6条 委員会の庶務は、市民共働部うみがめ課において処理する。

(雑則)

第7条 この規則に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、公布の日から施行する。

(招集の特例)

2 この規則の施行後最初に開く委員会については、第5条第1項の規定にかかわらず、市長が招集する。

附 則(平成17年12月28日規則第177号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成28年4月1日規則第34号)

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則(令和5年4月1日規則第16号)

この規則は、令和5年4月1日から施行する。

附 則(令和7年3月31日規則第16号)

この規則は、令和7年4月1日から施行する。

第3次福津市環境基本計画の策定について

<策定の経緯…諮問抜粋>

福津市は、環境が豊かな市、心が豊かな市の実現を目指して、福津市環境基本条例を制定し、平成19年3月に福津市環境基本計画を策定しました。平成29年3月には第2次福津市環境基本計画を策定し、「暮らしと自然が織りなすまち“ふくつ”」を基本理念として、市・市民・事業者・滞在者などが共働して環境の保全・創造に取り組んできました。今回、第2次福津市環境基本計画が令和9年3月末をもって満了となるため、現在の地球環境や社会情勢に応じた新たな計画を策定することを考えております。

<福津市環境基本計画の経過>

計画	第1次	第2次	第3次
計画の期間	平成19年度 ～平成28年度	平成29年度 ～令和8年度	令和9年度 ～令和18年度予定
基本理念	心と自然の宝箱 ふくつ	暮らしと自然が織り なすまち“ふくつ”	
表紙			

<策定の作業方針>

大きく分けて、次の3つの作業をおこなっていきます。スケジュールは別紙参照。

①基礎調査

第1次・第2次計画の点検・評価、既存の資料の調査、現況調査など

②計画内容の検討・計画書作成

関連施策の調査、計画素案の作成、市民の意見募集など

③打ち合わせ・協議

環境基本計画策定委員会・環境審議会の開催、庁議への報告など

第3次福津市環境基本計画策定スケジュール（案）

作業		令和7年度												令和8年度											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
基礎調査	旧計画の点検・評価																								
	既存資料調査																								
	資料収集・整理																								
	関連計画整理																								
	補足調査																								
計画内容の検討・計画書作成	意識・行動の把握																								
	問題点と課題の整理																								
	環境計画骨子の作成																								
	第3次環境基本計画関連施策調査																								
	素案の作成																								
打ち合わせ・協議	計画素案の作成																								
	素案の修正																								
	計画素案の公表と意見募集																								
	環境基本計画の作成・修正																								
	環境基本計画策定委員会																								
環境基本計画策定委員会	環境審議会																								
	庁議																								
	全員協議会																								

福津市の温暖化の状況と対策の必要性

資料 1

- 1 国・福津市の温暖化対策の動向
- 2 市域の気候変動の状況及びCO₂排出量等の概要
- 3 市域の気候変動の状況及びCO₂排出量等
- 4 今後の削減対策(例)

1-1 国における温暖化対策の動向

- 2020年10月に、2050年までに温室効果ガス排出量を全体として実質ゼロ(カーボニュートラル)とする「2050年カーボニュートラル」を宣言
- その後、地球温暖化対策計画やエネルギー基本計画を改定するなど、カーボニュートラルの実現に向けて対策を加速させている。

地球温暖化対策計画 (目的:温室効果ガス排出量の削減)

46%削減、さらに50%の高みに向けて挑戦
(2013年度比)

60%削減(2013年度比)

73%削減(2013年度比)

2030年度目標
(2021年10月改定)

2035年度目標
(2025年2月改定)

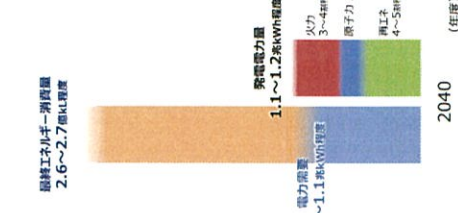
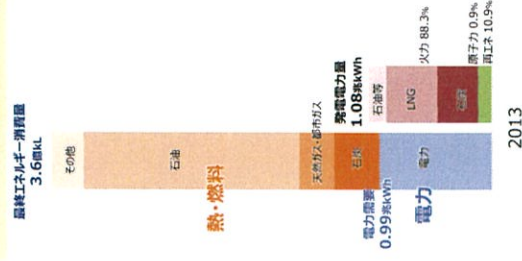
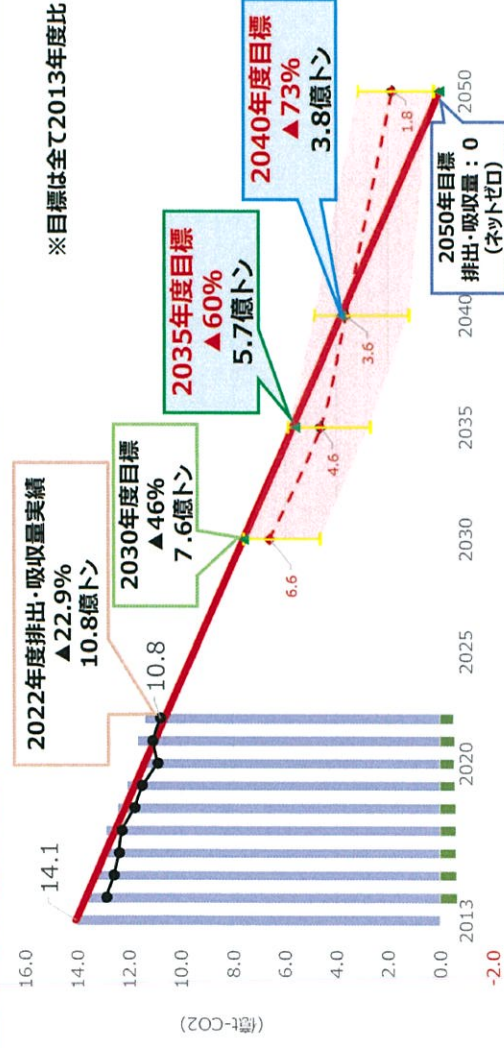
2040年度目標
(2025年2月改定)

エネルギー基本計画 (目的:電気などエネルギーの供給)

電源構成: 再エネ36~38%

—

電源構成: 再エネ4~5割程度
※直近2023年度:22.9%、2013年度:10.9%



1-2 福津市における温暖化対策の取組

【2022年12月】2050年ゼロカーボンシティを宣言



福津市ゼロカーボンシティ宣言

近年、地球温暖化が原因とみられる気候変動の影響によって、世界各地では、大規模災害が多発しており、「気候危機」と言うべき深刻な状況にあります。我が国においても、これまでに経験したことのない豪雨や巨大台風等による甚大な被害が発生しています。

このような危機に対して、2015年に合意されたパリ協定では「産業革命以前からの平均気温上昇の幅を2℃未満の1.5℃に抑えるよう努力する」という目標が世界的に共有されました。この目標を達成するために、わが国も2020年10月に「2050年までに、温室効果ガスの排出を実質ゼロにする」ことを宣言しました。

福津市は、「人も自然も未来につながるまち、福津」を市の将来像として定めています。本市の緑豊かな山々や白砂青松の美しい海岸線を有する海などの自然環境とそこに生息する多様な動植物を守り、誰もが安心して暮らせる持続可能で豊かな環境を次世代につないでいくために、そして、未来の地球のために、市民や事業者の協賛とともに「2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロ」の実現を目指すことをここに宣言します。

令和4年12月17日
福津市長 原 靖 智 仁

2023年

①ゼロカーボンシティロゴマーク決定

- ゼロカーボンシティ達成に向けた取組のシンボルとなるロゴマークを決定



②市民向け省エネ機器の補助金

- 省エネ家電の導入促進に向け、「省エネ家電買換えキャンペーン」を実施



2024年

事業者向け脱炭素セミナー(近隣市と連携開催)

- イオンモール福津を会場として、
域内事業者の脱炭素経営を促進
※後・福津地域事業者の皆様向け
脱炭素セミナー「脱炭素時代をどう生きるか」
脱炭素経営へのステップ「知る・測る・減らす」とは？
また取り組みについて、これから取り組む方にご参加いただきたいセミナーです！

地域の関係者と連携して、地域の脱炭素対策を総合的・包括的に推進していくため、
このたび、地球温暖化対策実行計画を策定に着手

2 市域の気候変動の状況及びCO₂排出量等の概要

市域における気候変動の影響の顕在化(温暖化の進行等)

	1980年代(10年間)	直近10年間	変化
平均気温	14.9℃	16.6℃	既に 1.7℃ の温暖化
真夏日	34日/年	60日/年	1.8倍 に増加

※真夏日の増加は、熱中症による救急搬送者の増加につながります。

市域におけるCO₂排出量の現状

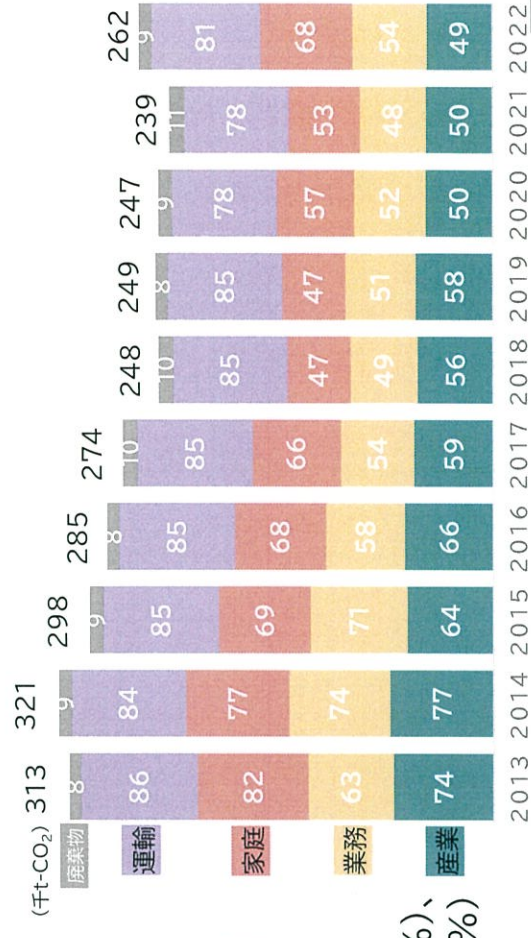
10

CO₂排出量
2022年度は**262千t-CO₂**
(2013年度と比べると**16%削減**)

削減要因
主に産業部門の省エネ、電力の排出係数※の改善

※電力を作り出す際に、どれだけのCO₂を排出したかを表す数値

部門別の排出量
運輸部門(31%)が最も多く、次いで家庭部門(26%)、
業務部門(21%)、家庭部門(19%)、廃棄物部門(3%)



市域におけるCO₂排出量の将来推計

	実績(kt-CO ₂)		将来推計(kt-CO ₂)		削減率(2013比)		
	2013	2022	2030	2050	2022	2030	2050
今後、追加的な対策をしないケース	313	262	271	262	16%	13%	16%
省エネ推進ケース	313	262	229	178	16%	27%	57%

今後、2050年カーボンニュートラルの実現に向けては、追加的な対策として、**再生可能エネルギーの導入、電力の排出係数※の低減**などが必須

※電力を作り出す際にどれだけのCO₂を排出したかを表す数値

※省エネ対策ケース(暫定)は、省エネルギー法による改善効果(原単位を年1%改善)や自動車の燃費改善見通し等から暫定的に試算
 今後、アンケート調査結果による**市民・事業者のニーズを反映し、改めて算定**します。

再生可能エネルギーの導入状況・今後の導入量

現状	導入量 49MW (事業用メガソーラー32MW、住宅・事業所17MW) 市域の消費電力に対する市域の再エネ発電量の割合 24%
導入ポテンシャル	建物系・土地系あわせて、市域に 453MW のポテンシャルを確認(太陽光が中心) 近年の災害の甚大化等に対応し、地域の防災能力の向上にもつながる普及促進方策を検討
2050カーボンニュートラルに向けて	今後、アンケート結果等を考慮して、2050カーボンニュートラルに必要な導入目標を検討・設定 ※ 目標指標(例):再エネ導入量、市域の消費電力に対する市域の再エネ発電量の割合 など

対策の方向性

※今後、アンケートにより以下のような対策の方向性を把握予定

- 省エネ対策の更なる強化** ■災害対応にもつながる**再エネの積極的導入**
- 市民・事業者の模範として**行政**として対策の**率先導入・率先実施** ■**市民・事業者・行政のそれぞれの立場**からの脱炭素アプローチ

3-1 市域における気候変動の影響の顕在化

平均気温

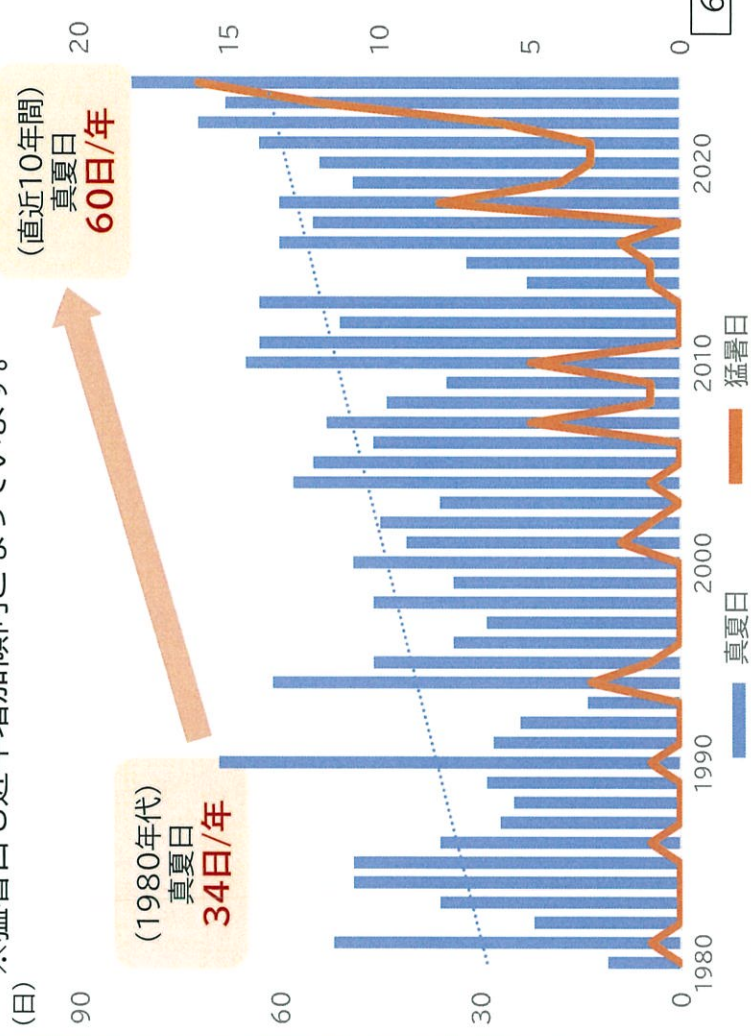
○1980年代は**14.9℃**でしたが、直近10年間では**16.6℃**と過去40年間で、既に**1.7℃の温暖化**が起きています。



真夏日 (日最高气温30℃以上) の日数

○1980年代は年間**34日**でしたが、直近10年間では年間**60日**と
 なっており、真夏日は**1.8倍(年間26日)増加**しています。
 ⇒**真夏日の増加は、熱中症による救急搬送者の増加**につながります。

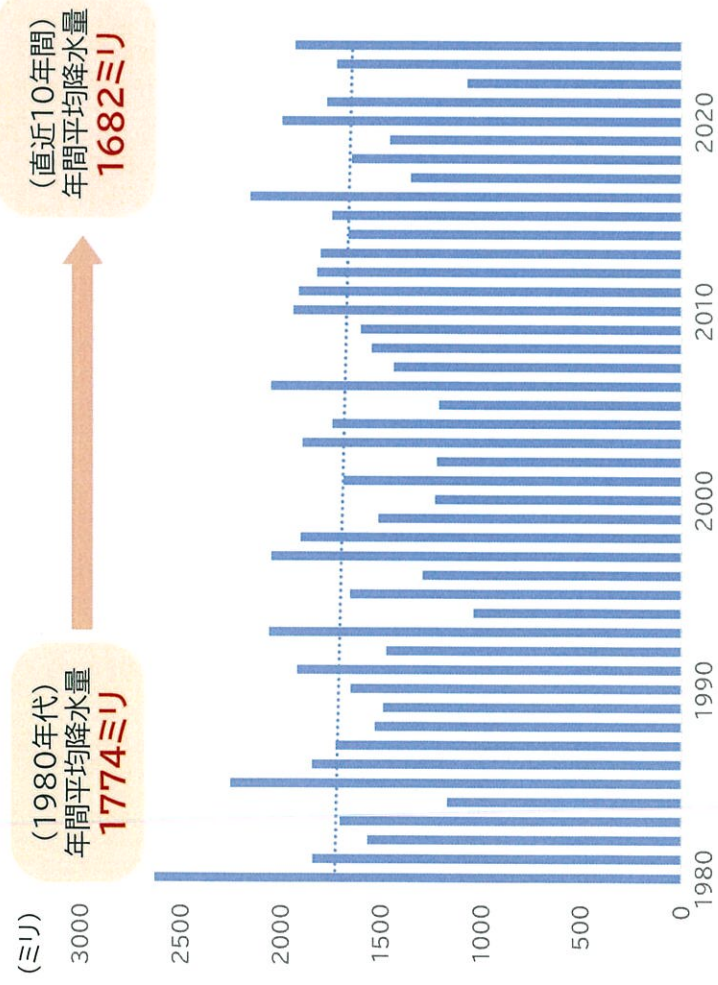
※猛暑日も近年増加傾向となっています。



3-1 市域における気候変動の影響の顕在化

年間の降水量

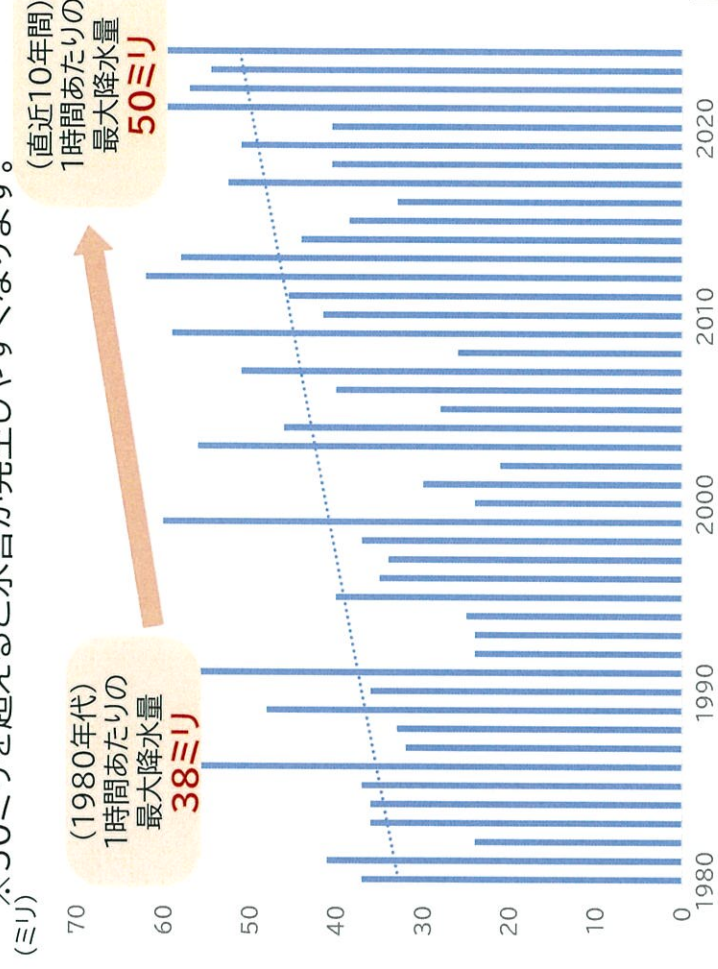
○1980年代は**1,774ミリ**でしたが、直近10年間では**1,682ミリ**と過去40年間で**やや減少**となっています。



1時間当たりの最大降水量

○1時間あたりの最大降水量は、1980年代は**38ミリ**でしたが、直近10年間では**50ミリ**となっており、過去40年間で**1.3倍に増加**しています。

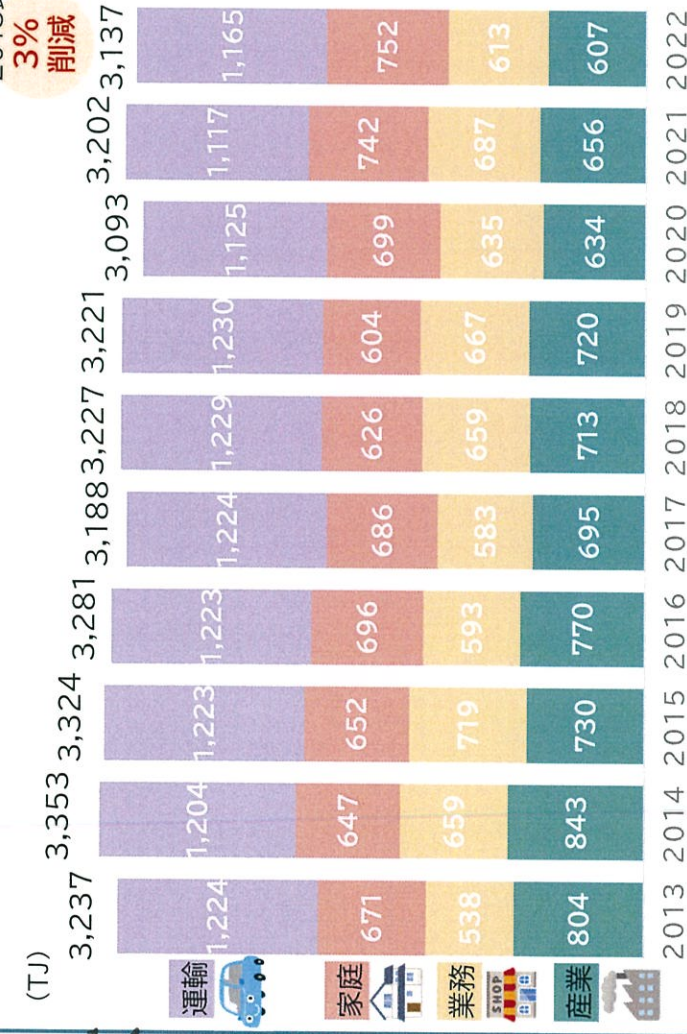
※50ミリを超えると水害が発生しやすくなります。



3-2 現状のエネルギー消費量及びCO₂排出量

エネルギー消費量

- 2022年度のエネルギー消費量は3,137TJであり、2013年度と比べると**3%の削減**
- 運輸部門が最も多く、次いで家庭部門、業務部門、産業部門
- 産業部門は減少
- 人口・世帯数の増加等により、家庭部門・業務部門は増加、2013比



CO₂排出量

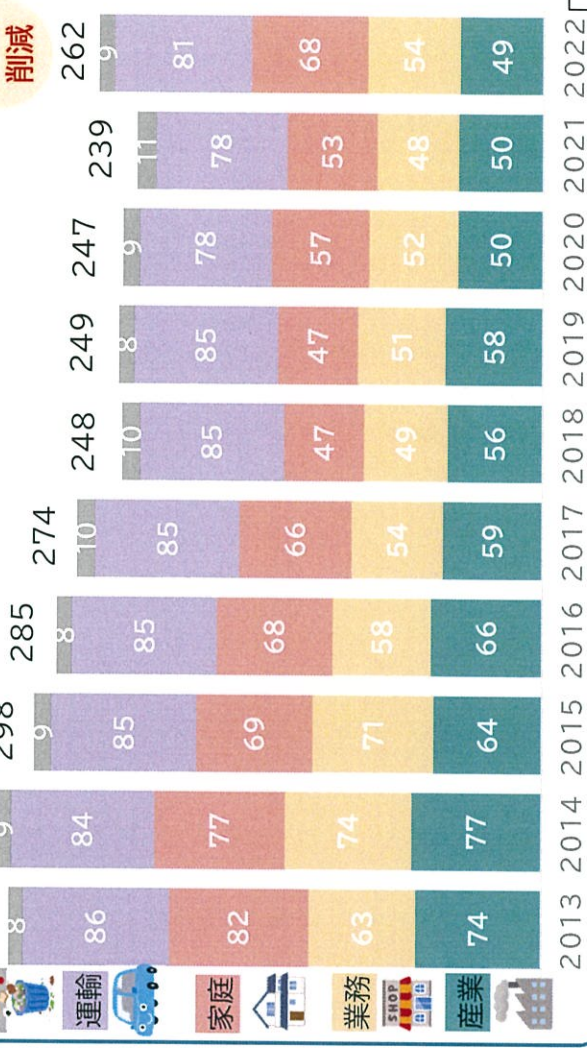
- 2022年度の排出量は262千t-CO₂であり、2013年度と比べると**16%の削減**

- 運輸部門が最も多く、次いで家庭部門、業務部門、産業部門
- 主な削減要因

電力の排出係数※が改善している

産業部門が最も減少。電力の排出係数※が改善している

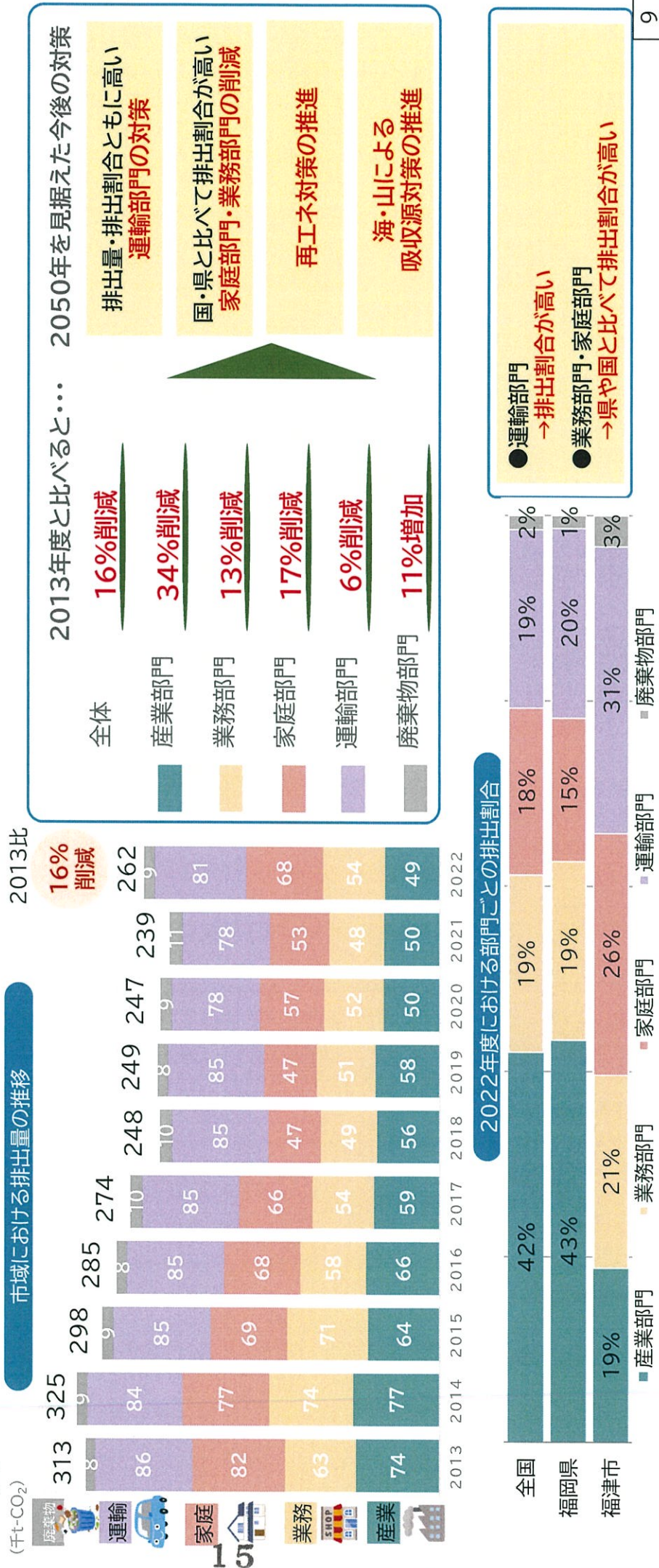
(千t-CO₂) (電力の排出係数: 2013年度0.613kg-CO₂/kWh→2022年度0.407kg-CO₂/kWh) 2013比



2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 2022

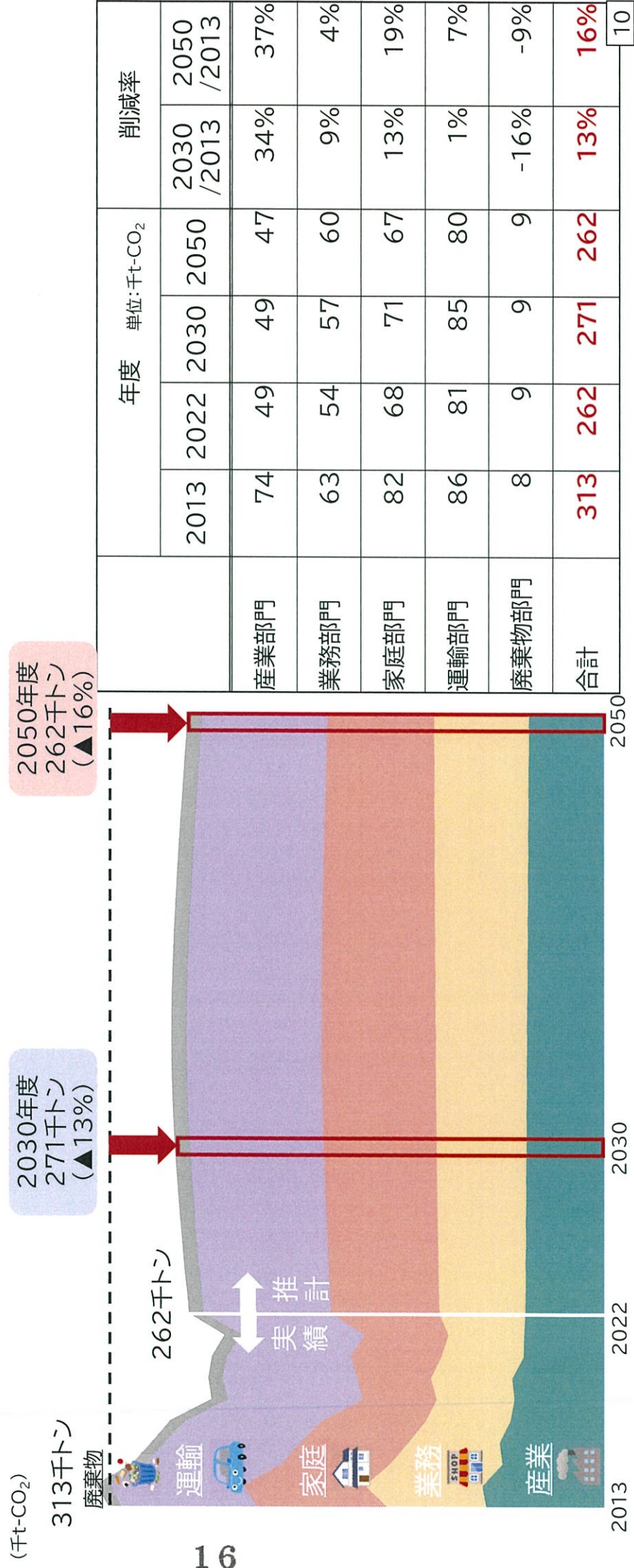
3-3 現状のCO₂排出量の内訳

- 排出割合は、運輸部門が最も高く31%、次いで家庭部門が26%、業務部門が21%となっています。
- 家庭部門は、国・県と比べると排出割合が高く、啓発など市民生活について対策を推進していく必要があります。
- 2050年カーボンニュートラルに向けては、省エネだけでは限界があるため、再エネ導入や吸収源対策などが必要です。



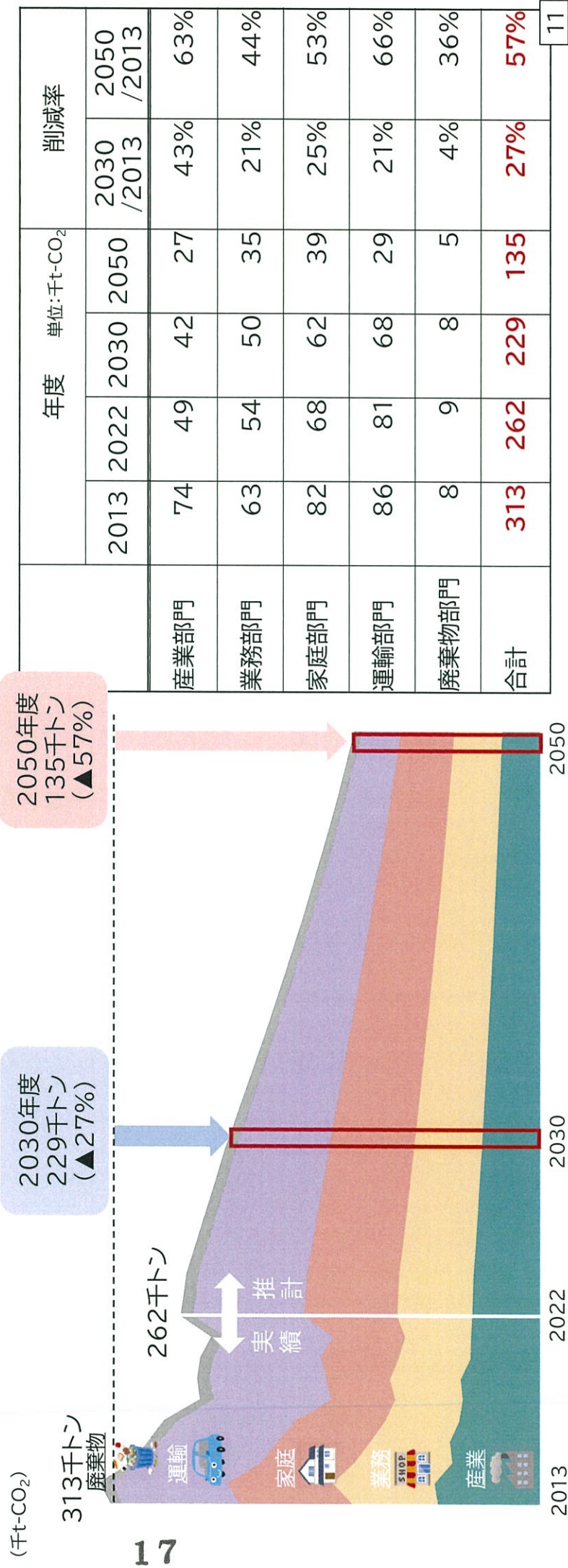
3-4 CO₂排出量の将来推計(特に追加的な対策をしない場合) 結果

- 2030年度:排出量は**271千t-CO₂**となる見通しであり、2013年度と比べると**13%の削減**。
- 2050年度:排出量は**262千t-CO₂**となる見通しであり、2013年度と比べると**16%の削減**。
- **国の目標(46%削減)の達成には、省エネ対策や再エネ対策の推進が必要となります。**



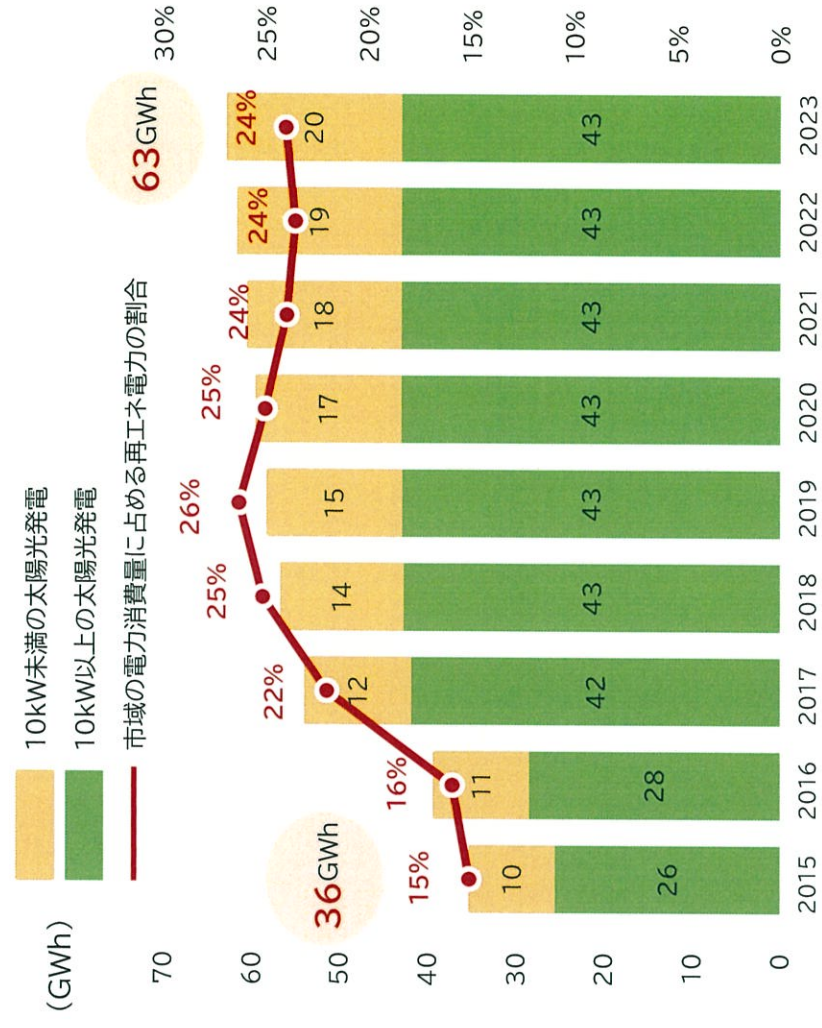
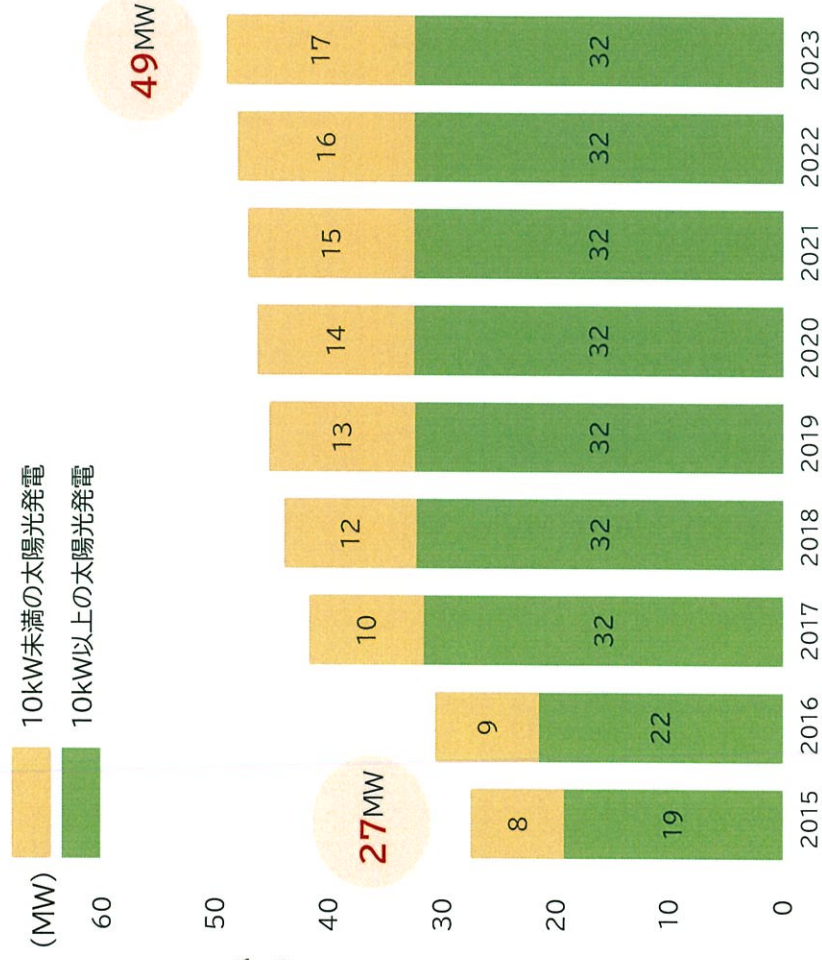
3-5 CO₂排出量の将来推計(省エネ推進ケース)結果(暫定版)

- 2013年度と比べて、2030年度は**27%削減**、2050年度については**57%削減**(概算)
※現在は省エネルギー法による改善効果(原単位を年1%改善)や自動車の燃費改善見通しを反映して暫定的に試算
今後、アンケート調査結果を基に精査
- 今後、電力の排出係数※の低減や再生可能エネルギーの導入により、2030年度の削減目標(今後設定)の達成や2050年カーボンニュートラルを目指す必要があります。
※電力を作り出す際に、どれだけのCO₂を排出したかを表す数値



3-6 再生可能エネルギーの導入状況

- 2023年度時点で、再エネはすべて太陽光発電であり、合計**49MW(63GWh)**が導入されている。
- 近年は、戸建て住宅への導入が増加している。
- 地域の再エネ発電量は増加を続けており、地域の消費電力の**24%**を占めている。(2015年度15% → 2023年度24%)

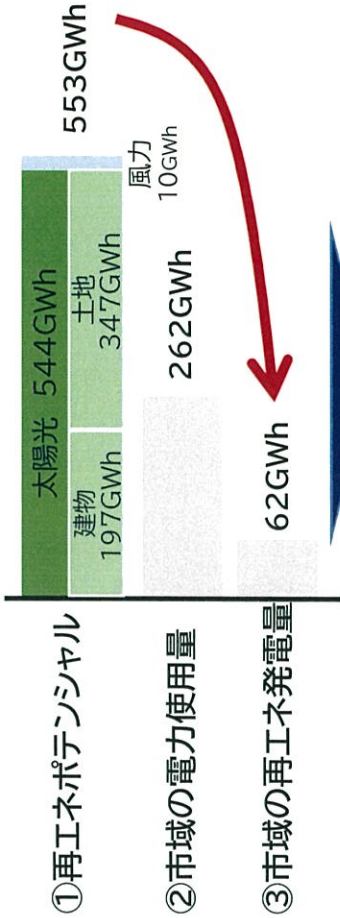


3-7 再生可能エネルギーの導入ポテンシャル

- 導入ポテンシャルとしては**453MW(553GWh)**が**確認**
- 2050年カーボンニュートラルに向けては、**太陽光を中心に導入を検討していくことが必要。**

種類	区分		導入ポテンシャル (MW)	
太陽光	建物系	戸建住宅等	54.4	
		官公庁	3.0	
		病院	2.0	
		学校	4.4	
		集合住宅	2.3	
		工場・倉庫	2.6	
		その他建物	85.5	
	土地系	鉄道駅	0.2	
		合計		154.5
		最終処分場	一般廃棄物	1
風力	陸上風力	田	154.3	
		畑	41.7	
	河川部	再生利用可能(営農型)	5.5	
		再生利用困難	50.7	
		ため池	40.8	
中小水力	合計		293.9	
	陸上風力		4.7	
	河川部		0	
再生可能エネルギー合計	農業用水路		0	
			453.1	

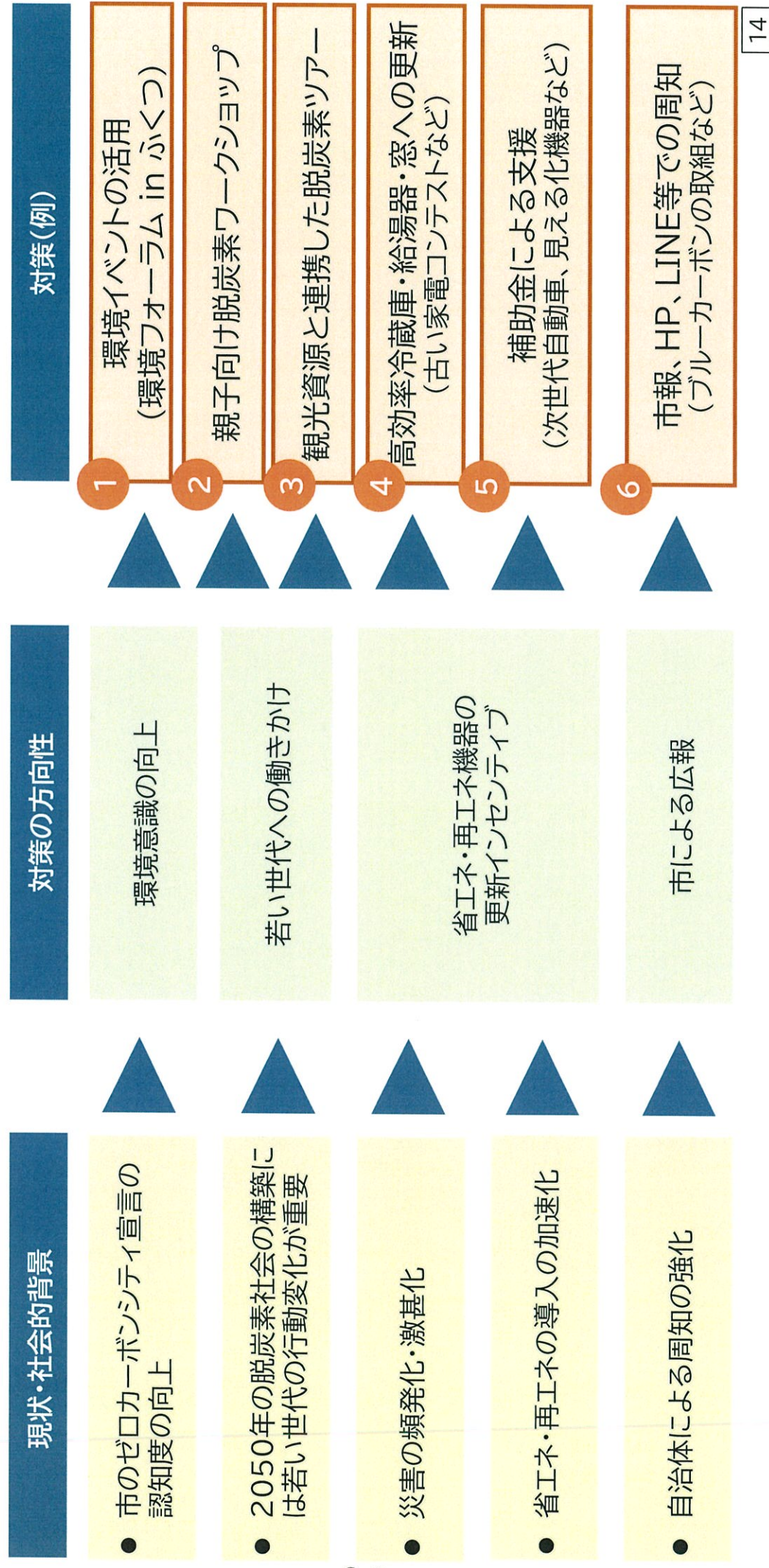
再エネポテンシャルと電力使用量・再エネ導入量の関係



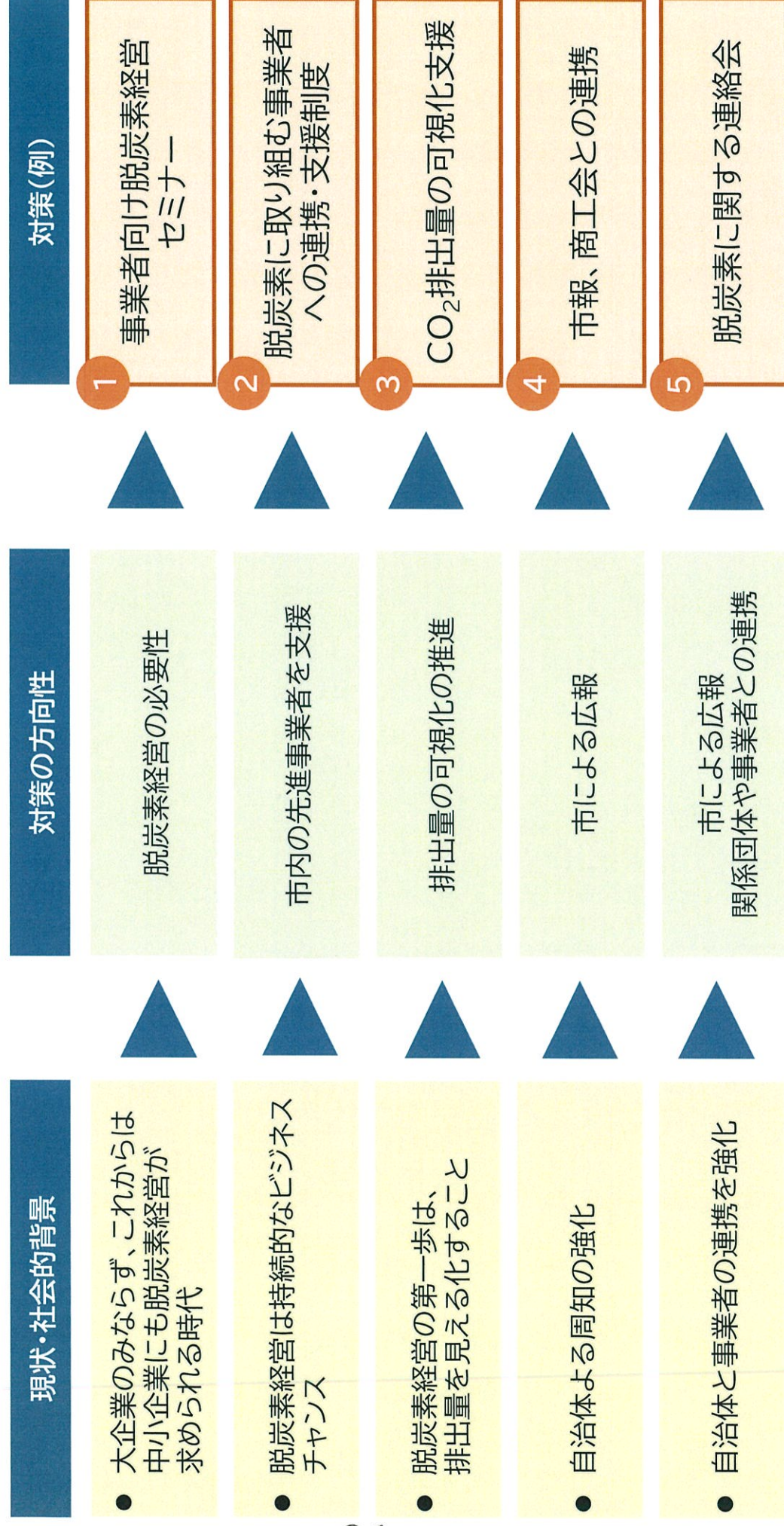
再エネポテンシャルに対する地域の導入率は**11%**

再生可能エネルギーの活用は、近年の災害の頻発化・甚大化に対応した**地域の防災能力の向上**にもつながる

4-1 市民向けの対策(例)



4-2 事業者向けの対策(例)



アンケート調査内容とその目的・活用について

資料 2

【質問の観点】

- 計画策定に必要な内容となるべく回答しやすい質問で設定
- 10分程度で回答できる質問数
- 専門用語は、わかりやすく

注釈を追加

市民向け		事業者向け	
質問内容		質問内容	
問1	属性	問1	属性
問2	周辺環境の満足度	問2	事業所における現状の環境対策
問3	周辺環境の重要度	問3	環境に配慮した経営認証の取得状況
問4	普段の情報入手媒体	問4	環境対策を行う動機
問5	現在の環境配慮の取組状況	問5	環境情報の入手媒体
問6	今後の環境配慮の取組意向	問6	現在の環境配慮の取組状況
問7	現在及び将来における設備の導入状況・意向	問7	今後の環境配慮の取組意向
問8	現状の環境保全活動への参加	問8	現状の環境保全活動への参加
問9	今後の環境保全活動への参加意向	問9	今後の環境保全活動への参加意向
問10	地球温暖化への関心	問10	現在及び将来における設備の導入状況・意向
問11	気候変動の影響を感じる場面	問11	地球温暖化が自社の事業活動に与える影響
問12	国のカーボンニュートラル宣言の認知度	問12	温暖化対策の必要性
問13	市のゼロカーボンシティ宣言の認知度	問13	国のカーボンニュートラル宣言の認知度
問14	市が支援する対策	問14	市のゼロカーボンシティ宣言の認知度
問15	温室効果ガス排出量の削減目標	問15	CO ₂ 排出量の把握状況
問16	省エネと再エネの優先順位	問16	CO ₂ 排出量の削減目標の設定状況
		問17	温暖化対策の知識・削減対策の実施状況
		問18	市が支援する対策
		問19	温室効果ガス排出量の削減目標
		問20	省エネと再エネの優先順位

アンケート調査内容とその目的・活用について

質問内容		目的・計画への反映
問1	属性	属性ごとの傾向を把握します
問2	周辺環境の満足度	市民向け 満足度と重要度の相関を分析し、特に必要な対策を把握します (例: 重要度が高く満足度が低い分野は特に対策を実施する必要があります。)
問3	周辺環境の重要度	
問4	普段の情報入手媒体	
問5	現在の環境配慮の取組状況	効果的な周知方法を分析します
問6	今後の環境配慮の取組意向	現状の環境配慮に関する取組状況を把握し、福津市の特徴を分析します
問7	現在及び将来における設備の導入状況・意向	今後の環境配慮の取組に関する市民のニーズを把握し、計画策定時に特に対策を推進する内容を分析します
問8	現状の環境保全活動への参加	現状の設備や車の導入状況を把握し、福津市の特徴を分析します。また、今後の設備や車の導入意向について福津市民のニーズを把握し、計画策定において特に対策を推進する内容を把握します
問9	今後の環境保全活動への参加意向	現状の環境保全活動への参加状況を把握し、福津市の特徴を分析します
問10	地球温暖化への関心	今後の環境保全活動への参加意向を把握し、計画策定に反映します
問11	気候変動の影響を感じる場面	地球温暖化に関する市民の意識の高まり度を把握します
問12	国のカーボンニュートラル宣言の認知度	地球温暖化に関する影響を感じる場面を把握し、計画策定時に意識づけ資料として活用します
問13	市のゼロカーボンシティ宣言の認知度	市民の認知度を把握し、追加的な啓発の必要性を確認します
問14	市が支援する対策	市民の認知度を把握し、追加的な啓発の必要性を確認します
問15	温室効果ガス排出量の削減目標	市民・事業者等における各種対策について、支援ニーズを確認し、計画に反映します。
問16	省エネと再エネの優先順位	国の削減目標数値を提示して、市民のニーズを確認し、計画に反映します。 取組における優先順位に関する市民ニーズを確認し、計画に反映します。

アンケート調査内容とその目的・活用について

質問内容		目的・計画への反映
問1	属性	属性ごとの傾向を把握します
問2	事業所における現状の環境対策	事業所における現状の環境対策を行う分野を確認し、重要度が高い分野を把握します
問3	環境に配慮した経営認証の取得状況	市内事業者が取得しやすい認証制度を把握し、今後の支援策の検討に活用します
問4	環境対策を行う動機	環境対策の動機を確認し、今後の支援策の着眼点に活用します
問5	環境情報の入手媒体	効果的な周知方法を分析します
問6	現在の環境配慮の取組状況	現状の環境配慮に関する取組状況を把握し、市内事業所の特徴を分析します
問7	今後の環境配慮の取組意向	今後の環境配慮の取組に関する事業者ニーズを把握し、計画策定時に特に対策を推進する内容を分析します
問8	現状の環境保全活動への参加	現状の環境保全活動への参加状況を把握し、福津市の特徴を分析します
問9	今後の環境保全活動への参加意向	今後の環境保全活動への参加意向を把握し、計画策定に反映します
問10	現在及び将来における設備の導入状況・意向	現状の設備や車の導入状況を把握し、市内事業所の特徴を分析します。また、今後の設備や車の導入意向について事業者のニーズを把握し、計画策定において特に対策を推進する内容を把握します
問11	地球温暖化が自社の事業活動に与える影響	自社の事業活動への影響の高まり度合いを把握します
問12	温暖化対策の必要性	温暖化対策の必要性や取組状況をの高まり度合いを把握します
問13	国のカーボンニュートラル宣言の認知度	事業者の認知度を把握し、追加的な啓発の必要性を確認します
問14	市のゼロカーボンシティ宣言の認知度	事業者の認知度を把握し、追加的な啓発の必要性を確認します
問15	CO ₂ 排出量の把握状況	自社の事業活動におけるCO ₂ 排出量の把握状況を確認し、必要な施策の検討に活用します
問16	CO ₂ 排出量の削減目標の設定状況	自社の事業活動におけるCO ₂ 排出量の削減目標の設定状況を確認し、必要な施策の検討に活用します
問17	温暖化対策の知識・削減対策の実施状況	事業者の温暖化対策の知識や対策の実施状況を確認し、必要な施策の検討に活用します
問18	市が支援する対策	事業者における各種対策について、支援ニーズを確認し、計画に反映します。
問19	温室効果ガス排出量の削減目標	国の削減目標数値を提示して、事業者のニーズを確認し、計画に反映します。
問20	省エネと再エネの優先順位	取組における優先順位に関する事業者ニーズを確認し、計画に反映します。

福津市 身近な環境・地球温暖化に関するアンケート調査

● はじめに、あなたご自身についてお聞きします。

問1 あなたご自身についてお聞きします。それぞれあてはまるものを1つだけ選択し、数字を記載して下さい。

	内容				回答欄
1	性別	1. 男性	2. 女性	3. 回答しない	
2	年齢	1. 10歳代 4. 40歳代 7. 70歳代	2. 20歳代 5. 50歳代 8. 80歳以上	3. 30歳代 6. 60歳代	
3	お住まいの地域	1. 勝浦地域 5. 福間南地域	2. 津屋崎地域 6. 神興地域	3. 宮司地域 7. 神興東地域	4. 福間地域 8. 上西郷地域
4	住居の形態	1. 持家一戸建て 4. 賃貸マンション(アパート・ハイツ)	2. 賃貸一戸建て 5. その他	3. 持家マンション	

● 身近な地域の環境についてお聞きします。

問2 あなたのお住いの周辺環境の【満足度】について、それぞれ1つだけ○をつけて下さい。

	内容	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満
1	空気のきれいさ	1	2	3	4	5
2	周辺のにおい(悪臭がしないこと)	1	2	3	4	5
3	周辺の静けさ	1	2	3	4	5
4	川や海、干潟など水辺の豊かさ	1	2	3	4	5
5	水(川、海、池など)のきれいさ	1	2	3	4	5
6	山やまちなかの緑の多さ	1	2	3	4	5
7	動物、昆虫などの生き物の豊かさ	1	2	3	4	5
8	まちなみの美しさ	1	2	3	4	5
9	夏場の暑さ	1	2	3	4	5
10	公園・レクリエーション施設の充実	1	2	3	4	5
11	ごみの回収頻度・回収場所の充実	1	2	3	4	5
12	ごみ出しのマナー	1	2	3	4	5
13	公共交通の利便性	1	2	3	4	5
14	歴史的・文化的遺産と調和したまち	1	2	3	4	5
15	環境学習の場・環境保全活動への参加機会	1	2	3	4	5

問3 あなたのお住いの周辺環境の【重要度】について、それぞれ1つだけ○をつけて下さい。

	内容	重要	やや重要	どちらでもない	あまり重要ではない	重要ではない
1	空気のきれいさ	1	2	3	4	5
2	周辺のにおい(悪臭がしないこと)	1	2	3	4	5
3	周辺の静けさ	1	2	3	4	5
4	川や海、干潟など水辺の豊かさ	1	2	3	4	5
5	水(川、海、池など)のきれいさ	1	2	3	4	5
6	山やまちのなかの緑の多さ	1	2	3	4	5
7	動物、昆虫などの生き物の豊かさ	1	2	3	4	5
8	まちなみの美しさ	1	2	3	4	5
9	夏場の暑さ	1	2	3	4	5
10	公園・レクリエーション施設の充実	1	2	3	4	5
11	ごみの回収頻度・回収場所の充実	1	2	3	4	5
12	ごみ出しのマナー	1	2	3	4	5
13	公共交通の利便性	1	2	3	4	5
14	歴史的・文化的遺産と調和したまち	1	2	3	4	5
15	環境学習の場・環境保全活動への参加機会	1	2	3	4	5

問4 あなたは、普段、環境に関する情報を何から得ていますか？あてはまるものにすべて○をつけて下さい。

	内容	回答欄
1	市のホームページ	
2	インターネット(市のホームページ以外)	
3	市の広報紙	
4	市のSNS(公式LINEなど)	
5	環境セミナー・イベント・勉強会への参加	
6	テレビ・ラジオなどの放送	
7	新聞・書籍などの印刷物	
8	その他()	

問5 あなたの「現在の取組状況」について、以下の「選択項目」の1～4から最も近い項目を選択し、それぞれに数字を記載して下さい。

【選択項目】 1.いつも実施している 2.ほぼ実施している 3.たまに実施している 4.実施していない

	内容	回答欄
1	テレビや照明について、不必要な場合はこまめに消している。	
2	冷暖房の室温設定は適切にしている。 ※冷房28℃、暖房20℃(室内温度の目安)	
3	冷蔵庫の設定温度は適切にしている。 ※設定温度:「中」や「弱」	
4	電力やガスの使用量を確認している。	
5	4R(リフューズ、リデュース、リユース、リサイクル)を実践している。	
6	買い物にはマイバッグを持参している。	
7	外出時はマイボトルを持参している。	
8	生ごみの減量(生ごみ処理機の使用など)に取り組んでいる。	
9	生ごみは水切りしてから出している。	
10	外出時はマイカー利用をなるべく控えている(徒歩、自転車、公共交通など)。	
11	自動車を運転する時は、急発進・急加速をしないように心がけている。	
12	窓にグリーンカーテンや厚手のカーテンをつけたり、断熱シートを貼っている。	
13	エアコンのフィルターを、月に1回か2回掃除している。	

問6 あなたの「今後の取組意向」について、以下の「選択項目」の1～4から最も近い項目を選択し、それぞれ数字を記載して下さい。

【選択項目】 1.既に実施しており、今後も実施する 2.将来的には実施したい
3.将来的に実施する可能性がある 4.将来も実施する予定はない

	内容	回答欄
1	テレビや照明について、不必要な場合はこまめに消す。	
2	冷暖房の室温設定は適切にする。 ※冷房28℃、暖房20℃(室内温度の目安)	
3	冷蔵庫の設定温度は適切にする。 ※設定温度:「中」や「弱」	
4	電力やガスの使用量を確認する。	
5	4R(リフューズ、リデュース、リユース、リサイクル)を実践する。	
6	買い物にはマイバッグを持参する。	
7	外出時はマイボトルを持参する。	
8	生ごみの減量(生ごみ処理機の使用など)に取り組む。	
9	生ごみは水切りしてから出す。	
10	外出時はマイカー利用をなるべく控える(徒歩、自転車、公共交通など)。	
11	自動車を運転する時は、急発進・急加速をしないように心がける。	
12	窓にグリーンカーテンや厚手のカーテンをつけたり、断熱シートを貼る。	
13	エアコンのフィルターを、月に1回か2回掃除する。	

問7 あなたのお住まいの設備や車などの導入状況について、以下の[選択項目]から最も近い項目を選択し、それぞれ1~4のいずれかの数字を記載して下さい。

- 【選択項目】**
- 1.既に導入している
 - 2.今は導入しておらず、将来的には導入したい
 - 3.今は導入しておらず、将来的に導入する可能性がある
 - 4.今は導入しておらず、将来的にも導入する予定はない

	内容	回答欄
1	太陽光発電システム	
2	蓄電池	
3	太陽熱利用システム(温水器等)	
4	ZEH住宅の選択 ※Net Zero Energy House(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)の略語 ※ZEH住宅とは、生活で消費するエネルギーよりも太陽光発電などで生み出すエネルギーが上回る住宅をいいます。	
5	電力使用量の見える化システム	
6	高効率なエアコン	
7	高効率な冷蔵庫	
8	家庭用燃料電池システム(エネファーム等)	
9	高効率な給湯器(エコキュート、エコジョーズ等)	
10	リビング等へのLED照明	
11	断熱窓(ペアガラス、二重窓等)	
12	生ごみ処理機	
13	再生可能エネルギーにより発電された電気メニューの契約	
14	ハイブリッド車 ※ガソリンによる走行に加えて、走行時に生じた電力も使用して走る車のことをいいます。	
15	プラグインハイブリッド車 ※家庭用電源や充電ステーションから車載バッテリーに充電した電力を使って走行するほか、ガソリンでも走行できる車のことをいいます。	
16	電気自動車	
17	燃料電池自動車	

問8 これまでに環境保全の活動(ごみの清掃活動や環境イベントへなど)に参加・協力したことがありますか？あてはまるものに1つだけ○をつけて下さい。

	内容	回答欄
1	参加・協力したことがある	
2	参加・協力したことがない	

問9 今後、環境保全の活動に参加してみたいですか？あてはまるものに1つだけ○をつけて下さい。

	内容	回答欄
1	参加してみたい	
2	どちらでもない	
3	参加しない	

● 地球温暖化についてお聞きます。

問10 あなたは、地球温暖化問題に関心がありますか？あてはまるものに1つだけ○をつけて下さい。

	内容	回答欄
1	とても関心がある	
2	どちらかといえば関心がある	
3	どちらかといえば関心はない	
4	まったく関心がない	

問11 ふだんの暮らしの中で以前と比べて気候変動の影響を感じる項目すべてに○をつけて下さい。

	内容	回答欄
1	夏の暑さや猛暑日・熱帯夜の増加	
2	台風や集中豪雨・豪雨被害の増加	
3	農作物や水産物の収穫量や収穫時期、品質の変化	
4	世界各地の異常気象の増加	
5	その他()	

問12 日本が2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにする目標を掲げていることを知っていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけて下さい。

	内容	回答欄
1	知っている	
2	知らなかった	

問13 福津市が2050年までに市域の二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ宣言」を令和4年12月にしていることを知っていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけて下さい。

	内容	回答欄
1	知っている	
2	知らなかった	

問14 市の地球温暖化対策として、特に取り組んでほしい項目すべてに○をつけて下さい。

	対象	内容	回答欄
1	市民	環境イベントや環境教育を通じた啓発の推進	
2		再生可能エネルギー(太陽光発電等)の導入支援	
3		省エネルギー対策(省エネ家電の導入・住居の断熱化等)の導入支援	
4		電気自動車など次世代自動車の導入支援	
5	事業者	再生可能エネルギー(太陽光発電等)の導入支援	
6		省エネルギー対策(省エネ設備の導入・建物の断熱化等)の導入支援	
7		電気自動車など次世代自動車の導入支援	
8	市役所	公共施設について、再生可能エネルギーの率先導入	
9		避難所等への太陽光発電等の導入など災害時の自立電源の備え	
10		公共施設について、省エネルギー対策の率先導入	
11		公用車への電気自動車など次世代自動車の率先導入	
12	その他	()	

問15 現在、市では、地球温暖化対策実行計画の策定に取り組んでいます。本計画における二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量の削減目標について、あなたの考えに最も近いものを1つ選んで○をつけて下さい。

※国と福岡県はそれぞれ2030年度までに46%削減(2013年度比)することを目標に掲げています。

	内容	回答欄
1	国や県より高い目標を掲げるべき	
2	国や県と同程度の目標を掲げるべき	
3	国や県ほどの高い目標を掲げるべきではない	
4	その他()	

問16 2050年の市域における二酸化炭素排出量の実質ゼロに向けては、エネルギーの使用を抑える省エネルギーと、太陽光発電などの設置による再生可能エネルギーの活用が重要とされています。そこで、省エネルギーと再生可能エネルギーの推進について、どのように取り組んでいくべきと思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んで○をつけて下さい。

	内容	回答欄
1	まず省エネルギーの推進に取り組み、その上で再生可能エネルギーの導入を推進すべき	
2	まず再生可能エネルギーの推進に取り組み、その上で省エネルギーの推進に取り組むべき	
3	省エネルギーと再生可能エネルギーの双方をバランスよく推進すべき	
4	その他()	

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

返信用封筒により郵送いただくか、WEBフォーマット(表紙のQRコード(<https://forms.office.com/>))により、**■月■日(■)**までにご回答をお願いいたします。

福津市 身近な環境・地球温暖化に関するアンケート調査

● はじめに、貴事業所についてお聞きします。

問1 それぞれあてはまるものを1つだけ選択し、数字を記載して下さい。

	内容	回答欄
1	事業形態 1. 事業所(オフィス等) 2. 工場・作業場 3. 研究所 4. 店舗 5. 宿泊施設 6. その他	
2	本社・支店 1. 本社 2. 支店・営業所 3. その他	
3	事業所の従業員数 1. 5人未満 2. 5人以上20人未満 3. 21人以上50人未満 4. 51人以上100人未満 5. 101人以上300人未満 6. 301人以上	
4	事業所の延床面積 1. 100m ² 未満 2. 100m ² 以上500m ² 未満 3. 500m ² 以上1,000m ² 未満 4. 1,000m ² 以上5,000m ² 未満 5. 5,000m ² 以上	
5	業種 1. 農業・林業 2. 漁業・水産業 3. 建設業 4. 運輸業 5. 製造業 6. 卸売・小売業 7. 不動産業・物品賃貸業 8. 金融業・保険業 9. 学術研究 10. 宿泊・飲食業 11. 生活関連サービス業・娯楽業 12. 教育・学習支援業 13. 医療・福祉 14. その他()	

● 貴事業所における環境対策についてお聞きします。

問2 貴事業所として実施している環境の取組について、それぞれ1つだけ○をつけて下さい。

	内容	取り組んでいる	どちらでもない	特に取り組んでいない
1	大気汚染の防止対策	1	2	3
2	河川・海への水質汚濁の防止対策	1	2	3
3	土壌・地下水への汚染防止対策	1	2	3
4	騒音・振動対策	1	2	3
5	悪臭対策	1	2	3
6	温暖化防止対策	1	2	3
7	生物多様性を守る対策	1	2	3
8	オゾン層破壊物質(フロン等)の使用抑制対策	1	2	3

問3 環境に配慮した経営手法を取得していますか？あてはまるものにすべて○をつけて下さい。

	内容	回答欄
1	環境マネジメントシステム ISO14001の取得	
2	KES・環境マネジメントシステム・スタンダードの取得	
3	エコアクション21の取得	
4	エコステージの取得	
5	その他()	

問4 環境対策を実施する動機について、あてはまるものにすべて○をつけて下さい。

	内容	回答欄
1	取引先・業界団体からの要請	
2	本社・親会社からの方針・指示	
3	企業の持続可能性の確保	
4	省エネルギーによる電気代・ガス代などのコスト削減	
5	消費者や取引先に向けたPR・競争力の強化	

問5 普段、環境に関する情報を何から得ていますか？あてはまるものにすべて○をつけて下さい。

	内容	回答欄
1	市のホームページ	
2	インターネット(市のホームページ以外)	
3	市の広報紙	
4	市のSNS(公式LINEなど)	
5	環境セミナー・イベント・勉強会への参加	
6	関係団体・所属団体からの情報提供	
7	環境関連のメールマガジン	
8	その他()	

問6 貴事業所の「現在の取組状況」について、以下の[選択項目]の1～4から最も近い項目を選択し、それぞれに数字を記載して下さい。

[選択項目] 1.いつも実施している 2.ほぼ実施している 3.たまに実施している 4.実施していない

	内容	回答欄
1	照明や動力装置について、不必要な場合はこまめに電源をオフにしている。	
2	冷暖房の室温設定は適切にしている。 ※冷房28℃、暖房20℃(室内温度の目安)	
3	電力やガス使用量を記録している。	
4	クールビズ・ウォームビズを実施している。	
5	4R(リフューズ、リデュース、リユース、リサイクル)を実践している。	
6	生ごみの減量(生ごみ処理機の使用など)に取り組んでいる。	
7	外出時は社用車・マイカー利用をなるべく控えている(徒歩、自転車、公共交通など)。	
8	自動車を運転する時は、急発進・急加速をしないように心がけている。	
9	窓にグリーンカーテンや厚手のカーテンをつけたり、断熱シートを貼っている。	
10	エアコンのフィルターを、月に1回か2回掃除している。	
11	省エネルギー設備を選択して導入している。	
12	省エネルギー診断を受診したことがある。	
13	ペーパーレス化など紙の使用量を減らす工夫をしている。	

問7 貴事業所の「今後の取組意向」について、以下の「選択項目」の1～4から最も近い項目を選択し、それぞれ数字を記載して下さい。

【選択項目】 1.既に実施しており、今後も実施する 2.将来的には実施したい
3.将来的に実施する可能性がある 4.将来も実施する予定はない

	内容	回答欄
1	照明や動力装置について、不必要な場合はこまめに電源をオフにする。	
2	冷暖房の室温設定は適切にする。 ※冷房28℃、暖房20℃(室内温度の目安)	
3	電力やガス使用量を記録する。	
4	クールビズ・ウォームビズを実施する。	
5	4R(リフューズ、デュース、リユース、リサイクル)を実践する。	
6	生ごみの減量(たい肥化、生ごみ処理機の使用など)に取り組む。	
7	外出時は社用車・マイカー利用をなるべく控える(徒歩、自転車、公共交通など)。	
8	自動車を運転する時は、急発進・急加速をしないように心がける。	
9	窓にグリーンカーテンや厚手のカーテンをつけたり、断熱シートを貼る。	
10	エアコンのフィルターを、月に1回か2回掃除する。	
11	省エネルギー設備を選択して導入する。	
12	省エネルギー診断を受診する。	
13	ペーパーレス化など紙の使用量を減らす。	

問8 事業所として地域住民と連携した環境保全活動をしたことがありますか？
あてはまるものに1つだけ○をつけて下さい。

	内容	回答欄
1	したことがある	
2	したことはない	

問9 今後、事業所として地域住民と連携した環境保全活動を試みようと思いますか？
あてはまるものに1つだけ○をつけて下さい。

	内容	回答欄
1	してみたい	
2	する予定はない	
3	わからない	

問10 貴事業所の設備や車等の導入状況について、以下の[選択項目]から最も近い項目を選択し、それぞれ1~4のいずれかの数字を記載して下さい。

- [選択項目]
1. 既に導入している
 2. 今は導入しておらず、将来的には導入したい
 3. 今は導入しておらず、将来的に導入する可能性がある
 4. 今は導入しておらず、将来的にも導入する予定はない

	内容	回答欄
1	太陽光発電システム	
2	蓄電池	
3	太陽熱利用システム(温水器等)	
4	堆肥化システム	
5	建築物のZEB化 ※Net Zero Energy Building(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)の略語 ※ZEB化とは省エネや再生可能エネルギーを利用し、建物で消費する一次エネルギー消費量を限りなくゼロにする考え方をいいます。	
6	電力使用量の見える化システム	
7	高効率空調	
8	高効率給湯器	
9	主要箇所へのLED照明	
10	断熱窓(ペアガラス、二重窓等)	
11	再生可能エネルギーにより発電された電気メニューの契約	
12	ハイブリッド車 ※ガソリンによる走行に加えて、走行時に生じた電力も使用して走る車のことをいいます。	
13	プラグインハイブリッド車 ※家庭用電源や充電ステーションから車載バッテリーに充電した電力を使って走行するほか、ガソリンでも走行できる車のことをいいます。	
14	電気自動車	
15	燃料電池自動車	

● 地球温暖化についてお聞きします。

問11 温暖化対策(二酸化炭素の削減等)に向けた社会の動きが加速してきますが、貴事業所の事業への影響について最も近いものを1つ選んで○をつけて下さい。

	内容	回答欄
1	自社の事業に大きな影響がある	
2	自社の事業にやや影響がある	
3	自社の事業に特に影響は感じていない	

問12 温暖化対策に関する貴事業所の取組・お考えに最も近いものを1つ選んで○をつけて下さい。

	内容	回答欄
1	必要性を感じており、すでに具体的な取組を始めている	
2	必要性を感じており、今後、具体的な取組を予定している。(今はまだ取り組んでない)	
3	具体的な取組はしておらず、現在のところ取り組む予定はない。	

問13 日本が2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにする目標を掲げていることを知っていますか？あてはまるものに1つだけ○をつけて下さい。

	内容	回答欄
1	知っている	
2	知らなかった	

問14 福津市が2050年までに市域の二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ宣言」を令和4年12月にしていることを知っていますか？あてはまるものに1つだけ○をつけて下さい。

	内容	回答欄
1	知っている	
2	知らなかった	

問15 貴社全体として温室効果ガス(二酸化炭素など)の排出量について把握・公表されていますか？あてはまるものに1つだけ○をつけて下さい。

	内容	回答欄
1	把握して、公表もしている	
2	把握はしているが、公表はしていない	
3	把握していない	

問16 貴社全体として、温室効果ガス(二酸化炭素など)の排出量の削減目標を設定していますか？あてはまるものに1つだけ○をつけて下さい。

	内容	回答欄
1	目標を設定している 削減目標:()年度()%削減	
2	目標は設定していないが、今後、設定について検討する	
3	目標は設定しておらず、現時点では設定を予定していない	

問17 現在の事業所として温暖化対策の状況について、あてはまるものにすべて○をつけて下さい。

	内容	回答欄
1	どのような対策をしてよいのか知識が乏しい	
2	温暖化対策についての今後の実施計画は立てている	
3	計画的に温暖化対策を推進している	
4	社員向けに温暖化対策につながる研修を実施している	

問18 市の地球温暖化対策として、今後、支援してほしいと考える項目すべてに○をつけて下さい。

	内容	回答欄
1	再生可能エネルギー(太陽光発電等)の導入支援	
2	省エネ対策(省エネ設備導入・建物の断熱化等)の導入支援	
3	電気自動車など次世代自動車の導入支援	
4	市と事業者が連携して取り組むネットワーク・意見交換会の設置	
5	二酸化炭素排出量の可視化に対する支援	
6	脱炭素化に向けた設備投資に対する優遇金利の融資	
7	従業員の人材育成に対する支援	
8	脱炭素化セミナーの開催など脱炭素に関する情報提供	
9	省エネ診断・アドバイザー派遣制度(無料)	
10	その他()	

問19 現在、市では、地球温暖化対策実行計画の策定に取り組んでいます。本計画における二酸化炭素などの温室効果ガス排出量の削減目標について、貴事業所の考えに最も近いものを1つ選んで○をつけて下さい。
※国と福岡県はそれぞれ2030年度までに46%削減(2013年度比)することを目標に掲げています。

	内容	回答欄
1	国や県より高い目標を掲げるべき	
2	国や県と同程度の目標を掲げるべき	
3	国や県ほどの高い目標を掲げるべきではない	
4	その他()	

問20 2050年の市域における二酸化炭素排出量の実質ゼロに向けては、エネルギーの使用を抑える省エネルギーと、太陽光発電などの設置による再生可能エネルギーの活用が重要とされています。そこで、省エネルギーと再生可能エネルギーの推進について、どのように取り組んでいくべきと思いますか。貴事業所の考えに最も近いものを1つ選んで○をつけて下さい。

	内容	回答欄
1	まず省エネルギーの推進に取り組み、その上で再生可能エネルギーの導入を推進すべき	
2	まず再生可能エネルギーの推進に取り組み、その上で省エネルギーの推進に取り組むべき	
3	省エネルギーと再生可能エネルギーの双方をバランスよく推進すべき	
4	その他()	

◎ヒアリングへのご協力をお願い

福津市では、今後の事業者向け支援策を検討するため、複数の事業者の方へのヒアリングを予定しています。本市から依頼があればヒアリングにご協力いただける場合、以下にご記入をお願いします。

事業者名: _____ 電話番号: _____ ご担当者: _____

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

返信用封筒により郵送いただくか、WEBフォーマット(表紙のQRコード(<https://forms.office.com/r/pYsDvgAcxi>))により、**■月■日(■)**までにご回答をお願いいたします。

福津市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）策定スケジュール

作業	令和7年度											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
基礎調査												
アンケート調査												
温室効果ガス排出量の現状・将来推計												
将来ビジョンの検討・作成												
再エネ導入目標・排出削減目標の設定												
目標に向けた施策の検討												
計画骨子の作成												
計画素案の作成												
計画最終案の作成												
計画素案の公表と意見募集												
計画の作成・修正												
環境基本計画策定委員会												
環境審議会												
庁議												
全員協議会												